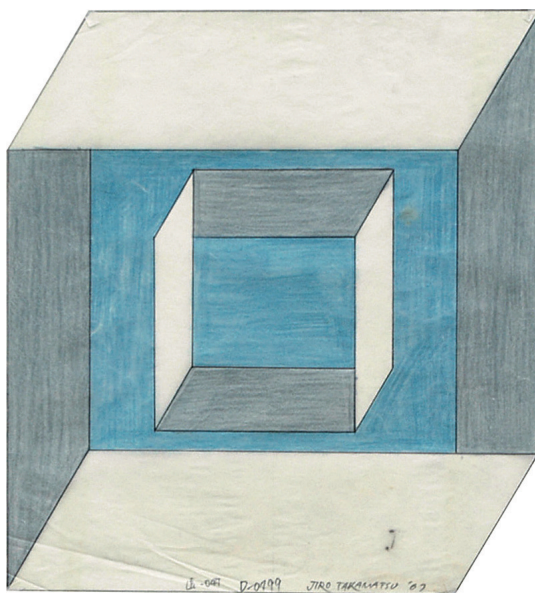




ソル・ルウィット | 高松次郎 Line for Earth Project



Jiro Takamatsu "Perspective" 1967 ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

会期：2023年9月30日（土） - 11月11日（土）

会場：Yumiko Chiba Associates

東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F

営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日

このたび、Yumiko Chiba Associates では、ソル・ルウィットと高松次郎の二人展を開催します。

ルウィットは1967年に「コンセプチュアル・アートについての断章」と題されたテキストを発表し、60年代後半当時の新たな動向を、「コンセプチュアル・アート」と命名しました。

同じ時期に、日本で活動していた高松次郎も、概念や思考を重視する主知主義的な傾向の作品を制作していました。高松の実践を踏まえれば、コンセプチュアル・アートはアメリカ国内に限られた動向ではなく、世界同時多発的なものであったことがわかります。

ルウィットと高松は、芸術が個人の「表現」であるという態度を採用せず、立方体、線、遠近法といった、知覚や芸術を成立させる論理、構造、システムそれ自体を取り出し扱うことで、知覚や芸術がいかに成立するのかを問う作業に従事しました。

また、彼らは特定のルールが生み出す表象のパリエーションを、方やその有限性（ルウィット）、方やその無限性（高松）の可視化によって示すという行為を、互いに意識しないままに行っていたことによっても共通しています。

両者にとって、思考を展開する媒体としてのドローイングは、じっさいに制作された立体作品などと同等に重要な手段でした。本展では、ルウィットと高松のキューブ（立方体）を素材とした彫刻作品だけではなく、その思考の軌跡をたどるための重要な手がかりとなるドローイングも併せて展示します。

本展は、主に1960年代後半から70年代にかけて制作された作品で構成されます。本展が、同時代における両者の仕事の併行性をたどる機会となれば幸いです。ぜひご高覧ください。



■アーティストプロフィール

ソル・ルウィット (1928-2007)

Sol LeWitt(b. 1928, Hartford, Connecticut; d. 2007, New York) was a leading figure of Minimalism and a pioneer of Conceptual art. Prioritizing the exploration of ideas over conventional aesthetics, he distilled his artistic practice to its essentials while expanding its possibilities. LeWitt's art is characterized by serialization, repetition, and progression. He applied systematic parameters to his work, using mathematical formulae or limiting constraints to develop the object and remove himself from making subjective decisions about the finished product. Creating works by defining systems of line and color, his prolific output of wall drawings represented a breakthrough in his career and solidified his engagement with practices spanning painting, drawing, sculpture, photography, and printmaking.

高松次郎 (1936-1998)

高松次郎は1960年代以降の日本の前衛芸術を牽引した、日本戦後美術における最重要作家の一人である。絵画、彫刻、写真、ドローイング、パフォーマンスなど、多様な制作手法と多岐にわたる素材を通して、視覚や認識を成り立たせる構造やメカニズムを探究した。芸術とその認識に関わる原理的体系に対する思索は、複数の独立した制作手法をもつシリーズとなって展開された。

1963年には、赤瀬川原平、中西夏之とともにコレクティブ「ハイレッド・センター」を結成。東京の都市空間を舞台に、さまざまなパフォーマンスやアクションを実施した。

初期の反芸術的な傾向を経て、高松の制作は、物質や知覚の問題に深く関わってゆく。その仕事は、初期の「もの派」の形成に大きな影響を与えた。1964年からは、代表作となる「影」シリーズの制作を開始。実在と不在の境界を探究した。1980年からは、絵画シリーズ「形」を開始。色、かたち、空間が発生する瞬間を捉える、原理的な探究を通して、自らの思考の総合化と再検証を図った。

【本展に関するお問合せ】 ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ

〒106-0032 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F

[Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日